

果糖やブドウ糖を多く含み、夏の疲れた身体を癒してくれます。

自家菜園として野菜を作るときに参考にして頂ければ幸いです。

#### 1 栽培のポイント

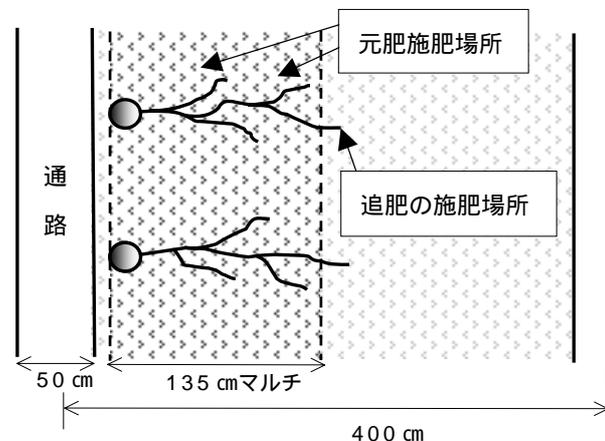
- ・ スイカは高温性の野菜で、最敵気温は25～30 近くあり、霜には弱いので注意します。
- ・ 着果期が梅雨期になると落果が多くなるので、開花期を梅雨前に持って行くのが大事です。乾燥には強く多湿には弱い傾向がありできる限り排水のよい場所で栽培します。

#### 2 栽培品種

- ・ 大玉 縞王マックス、金時、富士光TR、天竜2号
- ・ 小玉 おおとり2号、紅こだま

#### 3 定植準備

- ・ 地温が16 になった頃、畝巾4mに通路50cmを確保し 株間1.1m (1a 当り23本)に本葉4枚程度のものを植え付けホットキャップを行います。



- ・ 施肥量は1 a 当り成分量で窒素1.5kg、リン酸5.5kg、加里3kgを目安とし、元肥は7日前に堆肥150kg、苦土石灰10kg、BM重焼燐2kgと配合肥料20kgを施用します。追肥は着果後20日以内に蔓先にNK化成3kgを行います。遅すぎたり、量が多すぎると変形果や糖度の低いものができます

#### 4 整枝・着果・収穫

- ・ 本葉6～7枚目で摘心し、子蔓は3本～4本になるようにし、他の子蔓は掻きとります。
- ・ 子蔓60cmに伸びたらキャップを除き、畝にそって伸びるように子蔓は先端を同一方向に揃え20cm間隔に配列し、畑全体に敷き藁をします。
- ・ 低位節に着果したものは摘果し、子蔓20節前後に着果したものを残します。着果数は葉数によるが1株3～4果とします。つる先に敷き藁をしてつるを固定します。
- ・ 人工交配は午前中に行い、交配後10日頃に、形のよいものを残し他は摘果します。
- ・ 収穫は交配後大玉で約45日前後、小玉はいくらか短いです。必ず試し切りをして糖度を確認します。

#### 5 病害虫防除

- ・ 病害は発生しない環境づくりが大切ですが、発生前からの予防を行い、除去できる病気は初期発生に除去することが大切です。

参考文献： 神奈川の野菜、これから始める野菜栽培